

8月の納期一覧

納期限(8月31日)までに納めてください

税目	納期	問合せ先
市・県民税	第2期	収納課
国民健康保険税	第2期	☎56-0610
介護保険料	第3期	長寿課 ☎56-0613
後期高齢者医療保険料	第2期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日引落しますで残高を確認してください。納付は便利な口座振替を利用してください。※市税については、パソコン、スマートフォンからクレジットカード納付もできます。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555 (記事ID 1197) **HPを見る**
診療日時 日曜・祝日
9:00~16:30(昼休憩1時間あり)
診療科目 内科・小児科
所在地 日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133
24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。☎62-3311(代表)
なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問い合わせください。

8月10日(月・祝)山の日[※]は開院(通常診療)いたします。(記事ID 12829)

HPを見る

内容(予は要予約)	と き	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	7日(金) 13:30集合 27日(木) 9:45集合	妊婦
パパママ教室(1回目)	27日(木) 10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
予 パパママ教室(2回目) ※各回定員10組	1日(土) 9:15受付~11:00終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者(里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)
転入者予防接種等説明会	18日(火) 10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯(すでに保健センター窓口等で転入手続きをお済みの方は除きます。)
予 離乳食教室	17日(月) 10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予 妊産婦婦科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。	妊婦と産後1年未満の産婦
予 BCG接種 予約は1週間前まで	28日(金) 9:15~10:15受付	R2年2月16日~R2年3月15日生
予 BCG	対	生後1歳未満
予 B型肝炎	対	生後1歳未満
予 ヒブ、小児用肺炎球菌	対	生後2~60月に至るまで
予 4種混合、不活化単独ポリオ	対	生後3~90月未満
予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独	対	第1期:生後12~24月未満 第2期:小学校入学前の1年間
予 水痘	対	生後12~36月未満
予 日本脳炎	対	1期:生後6~90月未満、2期:9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
予 二種混合	対	11~13歳未満
予 子宮頸がんワクチン	対	小学6年生~高校1年生の女子
予 特定健康診査 がん検診(胸部・胃・大腸・前立腺)	3日(月)、19日(水)、20日(木)、31日(月)	市国民健康保険加入者で40~69歳の人(検診によって対象制限あり)
予 集団がん検診 (胸部・胃・大腸・前立腺)	6日(木)、18日(火)、24日(月)、29日(土)	市国民健康保険加入者以外で40~69歳の人(検診によって対象制限あり)
予 個別特定健康診査		市国民健康保険加入者で40~74歳の人
予 後期高齢者医療健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください ※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	後期高齢者医療制度加入者
予 個別がん検診※ (胸部・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人(検診によって対象制限あり)
予 個別子宮検診		20歳以上の西暦偶数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦奇数年生まれの人も可)
予 個別乳腺検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください。	40歳以上の西暦偶数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦奇数年生まれの人も可)
予 集団大腸検診	21日(金)	40~69歳の人
予 集団喀痰検診	21日(金)	40歳以上の人(リスク者のみ)
予 39歳以下健診	7日(金)、26日(水)	16歳から39歳の人
予 歯周病検診	8月1日~1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください。	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の人
体成分分析装置測定会	随時(時間は要相談)	市内在住の人

厚生労働省の勧告を受け、積極的な接種の勧奨を一時的に差し控えています。

母子保健 (記事ID 1100)

HPを見る

予防接種 (記事ID 1192)

HPを見る

成人健診 (記事ID 7147)

HPを見る

ドクターからあなたへ

小児の骨折

朝日が丘整形外科 塚本 正美

子どもが四肢の痛みを訴え、親が触ると泣く、手を使わない、足に体重をかけられないなどの症状があれば、骨折を疑って整形外科を受診しましょう。特に乳幼児では、あまり痛みを訴えなかったり、腫れが少なかったり、骨折をしていない部位の痛みを訴えることもあり注意が必要です。

受傷機転は転倒や転落によるものがほとんどです。特に肘関節の周囲や前腕など上肢の骨折が約半数を占め、次いで多いのが鎖骨や下腿の骨折です。成長過程の骨には弾力があり、骨の中央部では隆起骨折や若木骨折、骨の端の関節に近い部分では力学的に弱い成長軟骨が存在し、その部位での骨端骨折(骨端軟骨の離開)など小児特有の骨折があります。

診断は触診の後X線撮影を行います。初期にはわからなくても、後からX線撮影をして骨折がわかる場合もあります。治療では、骨折によるずれが軽い場合は手でずれを戻した後にギプスを巻きます。ずれが大きい場合は、入院して持続けん引による治療や、侵襲の少ない手術を行います。少しのずれが残っても、骨折部位が離れていても、小児の骨折は自家矯正能力が旺盛のため心配ありません。骨癒合も早いです。しかし、骨端骨折によって成長軟骨を損傷すると、成長に伴い変形が進行する場合もあり、経過観察が必要なこともあります。小児の骨折は、大人とは違い早期に発見することが大事です。

お問い合わせ先 時と場合 対対象 内容 費用記載がないものは無料 持ち物
申込方法 記載がないものは申込不要 他その他 スマイルポイント対象事業
申込や縦覧等の窓口・電話受付は、原則開庁時間に限りません。 予予約が必要なもの